

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	7,032,775	7,081,784	7,506,849	7,527,364
決算	6,951,947	6,928,486	7,598,360	
人件費(A)	89,200	96,200	96,200	87,600
報酬(B)	106	423		
年間経費(予算又は決算+A+B)	7,041,253	7,025,109	7,694,560	7,614,964

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
企業債残高	億円	246	目標	251	251	250	249
			実績	251	251	250	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・企業債残高
健全な水道経営の持続に向け、水需要の減少を前提とした資産経営を行う一方、安定的な財源確保のため、元金ベースのプライマリーバランスの範囲内で企業債の借入を行った。
水道施設の建設や更新に掛かる建設コストを抑制するため、低コスト材料や低コスト工法を積極的に採用するとともに、長期的に投資費用の縮減や平準化等を図るアセットマネジメントによる計画的な投資を実施することにより、企業債残高の抑制が図られた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	5,759,599	5,671,999	12.0	1.0			
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	1,855,365	1,855,365					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	7,527,364	12.0	1.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	5,280,200	5,187,394	5,628,334	5,671,999
	決算	5,208,754	5,185,293	5,587,789	
	国・県支出				
	市債				
	その他			17,124	15,939
	一般財源	5,182,851	5,155,132	5,487,080	5,583,514
	一般会計繰入金	25,903	30,161	83,585	72,546
人件費(報酬等) (千円)		106	423		
人件費 (千円)		89,200	96,200	96,200	87,600
人工	正規	12.0	13.0	13.0	12.0
	再任用(h31)				1.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0	
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)				-		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	251	251	250	249	249	246
実績値	251	251	250			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
職員定数(人)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	162	161	153	153	152	146
実績値	162	160	150			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
他の自治体等との合同防災訓練の実施回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3	3	4	4	4	4
実績値	3	3	4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
啓発事業の開催回数(回)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1			

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 水道事業の経営管理
 - ・持続可能かつ健全な経営の推進
- 水道事業に係る組織・人事管理
 - ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
- 災害対策事業
 - ・他都市連携による防災訓練の実施
- 水道の普及啓発事業
 - ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての水道に対する理解及び安全・安心の啓発

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標どおりの250億円となり、企業債残高の抑制が図られた。
- ・職員定数については、153人の目標に対して150人の実績となり、計画的に人件費の削減を図ることができた。
- ・19大都市水道局災害相互応援に関する覚書に基づき、堺市及びさいたま市との合同防災訓練を実施するとともに、日本水道協会中部支部の合同防災訓練に参加した。
- ・上下水道フェスタ、市民モニターアンケート、登録有形文化財の施設見学をそれぞれ実施し上下水道の普及啓発に努めた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・健全な水道経営の持続による、安定したサービスと安全な水道水の提供に向け、平成29年4月に旧簡易水道事業を経営統合したほか、水道事業への官民連携手法の導入調査を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・効率的な運営に向け、引き続き水道事業への官民連携手法の導入について検討を行うなど、健全な水道経営の持続による、安定したサービスと安全な水道水の提供を行う。

平成30年度

(管理番号)

03 06 01 01 000770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

山崎 昭

(作成日)

平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

水道事業における企業債残高の増加を抑制し、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 2005

取組事項名 水道事業における企業債残高の削減

個別計画等 計画名等 水道事業中期財政計画

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	建設事業費(億円)	計画値	42.8	46.4	56.6	51.7	40.0
		実績値	34.7	39.3	50.4		
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)							

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

【平成29年度】企業債残高の抑制を図りつつ、基幹管路耐震適合率100%(平成36年度末)に向けた取組などについて計画的に実行できた。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設を適正に維持管理し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,752,575	1,894,390	1,878,515	1,855,365
	決算	1,743,193	1,743,193	2,010,571	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	1,691,124	1,683,640	1,725,827	1,555,756
	一般会計繰入金	52,069	59,553	284,744	299,609
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)					
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
企業債残高(億円)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	251	251	250	249	249	246
実績値	251	251	250			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高

健全な水道経営の持続に向け、水需要の減少を前提とした資産経営を行う一方、安定的な財源確保のため、元金ベースのプライマリーバランスの範囲内で企業債の借入を行った。
水道施設の建設や更新に掛かる建設コストを抑制するため、低コスト材料や低コスト工法を積極的に採用するとともに、長期的に投資費用の縮減や平準化等を図るアセットマネジメントによる計画的な投資を実施することにより、企業債残高の抑制が図られた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・平成27年度より、公営企業債について、財政融資の償還年限が延長されたことから、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を実施し、企業債の発行条件について見直し。
・見直しの効果として、償還年限と耐用年数のギャップによって生じる構造的な資金不足の解消・圧縮が見込まれる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、後年度の公債費抑制につながる金利低減を含めた財政運営の健全化に向け、様々な発行条件について検討を行う。

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	58,478	100,733	460,684	340,086
決算	58,478	100,733	460,623	
人件費(A)				
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	58,478	100,733	460,623	340,086

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	水道事業会計負担金					340,086	340,086					
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						340,086	340,086					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	58,478	100,733	460,684	340,086
	決算	58,478	100,733	460,623	
	国・県支出				
	市債				
	その他			79,399	
	一般財源	58,478	100,733	381,224	340,086
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)					
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	6,272	17,519	823,386	929,603
決算	5,133	15,073	823,386	
人件費(A)	81,880	83,080	155,360	197,600
報酬(B)				30,635
年間経費(予算又は決算+A+B)	87,013	98,153	978,746	1,157,838

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
共同住宅における小規模貯水槽の設置残 件数	件	1,100	目標	—	1,801	1,714	1,627
			実績	1,888	1,810	1,768	
検針業務等の包括委託		継続運用	目標	委託仕様検討・作成	入札執行	委託開始	継続運用
			実績	委託仕様検討・作成	入札執行	委託開始	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

豊かな市民生活や、活力ある経済活動の源泉となる水道水の安全で安定した供給を実現するために、施設の適正な維持管理及び拡張・改良事業を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市水道事業ビジョンに基づき共同住宅の小規模貯水槽設置数の減数を旨し、貯水槽方式から直結方式へ切り替えるよう周知した。 ・H29年度から新たに5年間の包括委託をスタートさせた。 ・より高度なICTを取り入れた機種(最新のスマートメーター等)の導入について、他都市での研究発表会に参加し情報収集に努めた。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)		○	○		1,099,575	871,340	26.0	2.0		3.0	30,635
2	浜松市水道事業(資本的支出)					58,263	58,263					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						#####	929,603	26.0	2.0		3.0	30,635

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

- ・適正な給水装置工事のため指定工事事業者に対する技術的指導及び水道使用に関する監督・指導を行う。
- ・検針業務を始め料金徴収にかかる業務を包括委託をすることで、業務の効率化や経費の削減を図る。
- ・より高度なICT技術を取り入れ、検針等の業務の省力化と効率化を図り業務の即時性を高める。

◇事業の概要

- ・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、指定事業者を対象とした技術講習会を実施する。
- ・給水装置工事の相談・受付・検査業務においては、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施する。

【重点戦略項目No.101】

- ・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図ることで収入の安定確保を目指す。
- ・収納関係事務については、業務を包括委託することで、事務の効率化や経費の削減を図る。
- ・検針・調定業務については、業務を包括委託することで効率化や経費の削減を図るとともに、より安全で軽量、高機能、低コストな検針システムの導入を目指す。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	6,272	17,519	765,123	871,340
	決算	5,133	15,073	765,123	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	5,133	15,073	765,123	871,340
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					30,635
人件費 (千円)		81,880	83,080	155,360	197,600
人工	正規	10.2	10.3	21.1	26.0
	再任用(h31)	1.8	2.3	0.6	2.0
	再任用(h26)	1.0	0.5	0.5	
	非常勤	0.5	0.5	1.5	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
指定工事業者の違反行為 (件)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	0	0	0	0		0
実績値	2	4	2			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
検針業務等の包括委託						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	委託仕様検討・作成	入札執行	委託開始	継続運用	継続運用	継続運用
実績値	計画通り	計画通り	委託開始			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・給水装置工事指定事業者に対する指導・監督事業においては、指定事業者を対象とした技術講習会を実施した。
 ・給水装置工事の相談・検査業務において、給水装置工事の事前相談に対する技術的指導及び上水道使用に関する監督・指導を実施した。

【重点戦略項目No.101】

・料金収入の安定確保については、新たな滞納の発生を減らすとともに、滞納分の早期解決を図った。
 ・収納関係事務については、業務を委託し事務の効率化と経費の削減を図った。
 ・検針・調定業務については、委託し効率化や経費の削減を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・給水装置工事の受付・検査等業務委託に関する説明会を開催し、適正な事務手続きの指導並びに給水装置の施工及び上水道使用に関する技術的指導を行った。
 ・料金収入の安定確保については、口座振替やクレジットカード制度を推奨し、新たな滞納発生を防ぐとともに、停水の強化をはじめ滞納分の早期解決を図った。
 ・収納関係事務については、業務を委託し事務の効率化と経費の削減を図った。
 ・検針・調定業務については、委託し効率化や経費の削減を図った。

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・水道事業でのスマートメーター化についての研究は、電気ガスに比べ遅れており、先進政令市でもなかなか進んでいない状況であるが、今後の動向について引き続き注意していく。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / - 事業費 現状 人工 縮小

・委託した業務についてはモニタリングにより職員の知識育成に努めていく。
 ・スマートメーターの導入について、引き続き常にアンテナを高くして情報収集をしていく。

補助シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
101	H29からの委託に向けた、現状の委託内容や新規委託の仕様書の作成	入札 委託業務の研修指導	5年間の委託業務開始 業務内容のモニタリング	業務内容のモニタリング
〇〇				

平成30年度

(管理番号)
03 06 01 03 007705000 01

(担当課)
お客さまサービス課

(責任者)
高橋伸行

(作成日)
平成 30 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇取組概要

検針業務等を包括委託することにより、さらなる業務の効率化と経費節減につながる仕様書を作成する。委託開始後は、業務の進捗状況をモニタリングすることで委託の効果を上げる。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理(行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する項目に記載)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	検針業務等の包括委託	計画値 委託仕様	入札執行	委託開始	継続運用	継続運用
		実績値 計画通り	計画通り	計画通り		
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

【平成29年度】

H29年度から新たに5年間の包括委託をスタートさせた。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

・料金調定システム及びハードウェアリース代

◇事業の概要

・料金調定システム及びハードウェアリース代

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	-	事業会計	自治事務(その他)	水道法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算			58,263	58,263
	決算			58,263	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源			58,263	58,263
	一般会計繰入金				
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	2,960,641	3,254,137	4,031,529	4,174,319
決算	2,631,703	2,908,333	3,747,511	
人件費(A)	354,400	347,400	349,400	358,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,986,103	3,255,733	4,096,911	4,533,119

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4	70
			実績	59	62.2	66.4	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
<p>・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	555,927	379,127	22.0	4.0		3.0
2	浜松市水道事業(資本的支出)				○	3,977,192	3,795,192	26.0			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						#####	4,174,319	48.0	4.0		3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ 事業対象 水道配水管および付属施設

◇事業の概要

・配給水管維持管理事業 ・水道地理情報管理システム整備事業 ・消火栓維持管理事業
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	392,102	395,755	394,334	379,127
	決算	347,241	345,060	322,424	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	347,241	345,060	322,424	379,127
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		179,400	179,400	181,400	176,800
人工	正規	22.0	22.0	23.0	22.0
	再任用(h31)	2.0	2.0	2.0	4.0
	再任用(h26)	7.0	7.0	4.0	
	非常勤			1.0	3.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2	4		3.7
実績値	3.8	3.5	5.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・配給水管維持管理事業
- ・水道地理情報管理システム整備事業
- ・消火栓維持管理事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・計画的な漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めたが、平成29年度に統合した36の旧簡易水道地区の漏水量が想定より多かったため、水道事業全体の漏水率が上昇した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新 事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・配水管布設事業 ・消火栓設置事業(拡張費) ・老朽管等更新事業 ・管路耐震化事業 ・消火栓設置事業(改良費)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	2,568,539	2,858,382	3,637,195	3,795,192
	決算	2,284,462	2,563,273	3,425,087	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,284,462	2,563,273	3,425,087	3,795,192
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		175,000	168,000	168,000	182,000
人工	正規	25.0	24.0	24.0	26.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4	70		100.0
実績値	59	62.2	66.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	3,213,776	3,345,835	3,384,483	3,731,737
決算	3,142,018	3,249,258	3,376,905	
人件費(A)	136,400	130,600	130,600	131,800
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,278,418	3,379,858	3,507,505	3,863,537

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
水安全計画の策定	%	100	目標	20	60	70	40
			実績	20	60	70	
水源上流域の調査・危害対応策作成	%	100	目標	20	40	60	40
			実績	20	40	60	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水源の確保及び流域のリスク管理
- ・浄水場業務、水質管理体制の官民連携

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・安心・安全な水道水給水を安定的に継続した。安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設18施設を対象として順次策定し、12個所の策定が完了した。
 - ・水源上流部における有害物質取扱い事業所の調査を実施(71物質、389事業所)。上流での使用が確認された化学物質について、使用量と親水性によるリスクレベル分けを実施した。
 - ・施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場の委託業者を監督するとともに、協力・連携の体制強化を図った。施設見学対応に派遣業者を委託し5,509人を受入。
 - ・平成29年度より、簡易水道事業(43か所)の統合により、水安全計画の策定施設が増加した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)				○	3,863,537	3,731,737	17.0	2.0		2.0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						#####	3,731,737	17.0	2.0		2.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

安全な水道水を供給するため水道法に基づく定期水質検査及び必要な検査を実施し、その結果を公表し安全な水道水のPRを行う。また、水道水源の流域の化学物質等を排出する事業所の把握等水源水質の監視を行う。必要な水量確保のため、県企業局からの受水、三方原用水や井戸の維持管理を行う。取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務を行う。

◇事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	3,213,776	3,345,835	3,384,483	3,731,737
	決算	3,142,018	3,249,258	3,376,905	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	3,142,018	3,249,258	3,376,905	3,731,737
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		136,400	130,600	130,600	131,800
人工	正規	18.0	17.0	17.0	17.0
	再任用(h31)		1.0	1.0	2.0
	再任用(h26)	4.0	2.0	2.0	
	非常勤		1.0	1.0	2.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
水安全計画の策定(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	60	70	40	70	100
実績値	20	60	70			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
水源上流域の調査・危害対応策作成(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	40	60	80	100	100
実績値	20	40	60			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
-						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- 水質検査及び水質管理
 - ・水道法等に基づく水質検査 ・大原浄水場の水質試験及び水質管理
 - ・水質関係の市民相談 ・簡易水道及び洗管水の水質検査
 - ・水安全計画の策定
- 水源水質保全
 - ・水源上流域の調査 ・静岡県企業局からの受水量計画及び調整
 - ・三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)による設備更新
 - ・自己水源(深井戸)の維持管理
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務
 - ・取水・配水及び受水の計画及び実施 ・浄水施設維持管理及び維持管理のための委託及び工事契約
 - ・施設補修工事の設計・実施及び監督 ・自家用電気工作物管理
 - ・施設点検及び監視業務(委託業務)の管理監督 ・浄水場施設見学の受入・案内

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 水質検査及び水質管理

水道法等に基づく給水栓等の水質検査51項目、自主的に行う原水の水質検査を給水栓と同じ51項目実施。市民相談は43件(平成30年2月末現在)に対応。水安全計画の策定を進めた。
- 水源水質保全

水源上流域の調査、自己水源(深井戸)の維持管理を行い水源水質の保全に努めた。三方原用水の維持管理及び三方原用水第二期土地改良事業(農水・工水・浄水)の協定書を締結、平成27年度から着手した。(平成36年度の完了予定)
- 取水施設、浄水施設、配水施設の維持管理及び運転監視業務

計画的な取水・配水及び県水受水を行った。浄水施設維持管理のため委託、工事、補修、自家用電気工作物管理を実施。浄水場委託業者の管理監督を行うとともに協力と連携の体制強化を図った。管理監督浄水場施設見学の受入・案内に派遣業者を委託し、全82件5,509人を受け入れた。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

包括化した浄水場運転管理業務の受託者との連携を進め、安心・安全で低廉な飲料水の供給を継続するとともに、老朽化した施設の適正な修繕・更新を継続している。
また、高度浄水処理の可能性について知見を得るため業者と共同し、実験装置にてデータの収集を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄水場運転管理業務の平成31年度からの新たな委託契約に向けて、業務内容・包括委託等の見直しを行い更なる効率化を図っていく。
また、水道アセットマネジメント計画に沿った施設更新に資するため、浄水実験を含めた水処理関連の知見蓄積を継続する。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	1,356,311	1,432,654	1,630,271	1,909,609
決算	1,251,097	1,375,110	1,560,385	
人件費(A)	207,800	205,200	206,200	206,400
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,458,897	1,580,310	1,766,585	2,116,009

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4	70
			実績	59	62.2	66.4	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・水道施設の適正な維持管理。
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・基幹管路の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

- <進捗> 計画通り
- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)			○		566,256	394,856	21.0	6.0		1.0
2	浜松市水道事業(資本的支出)			○		1,549,753	1,514,753	5.0			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						#####	1,909,609	26.0	6.0		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道供給のため、配水管および付属施設を正常な状態に保つ。 事業対象 水道配水管および付属施設。
--

◇事業の概要

・施設管理事業 ・配給水管維持管理事業 ・配給水管切替事業 ・消火栓維持管理事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	329,337	335,463	369,660	394,856
	決算	277,963	297,717	345,533	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	277,963	297,717	345,533	394,856
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		172,800	170,200	171,200	171,400
人工	正規	22.0	21.0	21.0	21.0
	再任用(h31)	3.0	5.0	6.0	6.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	1.0	
	非常勤	1.0			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2	4		3.7
実績値	3.8	3.5	5.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・配給水管切替事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・災害対応の強化

・事業の成果と課題

指標の達成度

・計画的な漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めたが、平成29年度に統合した36の旧簡易水道地区の漏水量が想定より多かったため、水道事業全体の漏水率が上昇した。

・事業の見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工
・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 施設整備事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 施設改良事業費 施設耐震化事業 消火栓設置事業(改良費)
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	1,026,974	1,097,191	1,260,611	1,514,753
	決算	973,134	1,077,393	1,214,852	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	973,134	1,077,393	1,214,852	1,514,753
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		35,000	35,000	35,000	35,000
人工	正規	5.0	5.0	5.0	5.0
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4	70		100
実績値	59	62.2	66.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・施設整備事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・施設改良事業費
- ・施設耐震化事業
- ・消火栓設置事業(改良費)
- ・安定供給システムの構築

・事業の成果と課題

指標の達成度
計画通り

・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果
大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

・平成36年度末における基幹管路耐震化適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性
大項目 現状 小項目 - / 事業費 現状 人工 現状

・管路耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道

(予算費目名) 浜松市水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	351,589	468,399	769,852	736,072
決算	322,205	284,553	653,781	
人件費(A)	63,700	63,200	112,600	125,600
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	385,905	347,753	766,381	861,672

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
基幹管路耐震適合率	%	100	目標	59.1	62.2	66.4	70
			実績	59	62.2	66.4	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- ・安全・安心な水道水の供給
- ・水道施設の適正な維持管理
- ・「第5次浜松市上水道布設事業」に基づく管網等水道施設の整備および給水要望を受けての配水管の布設。
- ・配水幹線の耐震化および老朽管更新工事。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市水道事業(水道事業費用)			○		351,033	274,433	9.0	3.0		1.0
2	浜松市水道事業(資本的支出)			○		510,639	461,639	7.0			
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						861,672	736,072	16.0	3.0		1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 適正な水道水供給のため、水道施設および管路を正常な状態に保つ 事業対象 水道施設および管路

◇事業の概要

・施設管理事業 ・配給水管維持管理事業 ・消火栓維持管理事業 ・配水給水管切替事業
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	68,891	190,670	302,813	274,433
	決算	56,754	48,073	268,032	
	国・県支出				
	市債				
	その他				
	一般財源	56,754	48,073	268,032	274,433
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		49,700	49,200	67,000	76,600
人工	正規	6.0	6.0	7.0	9.0
	再任用(h31)	1.0	2.0	5.0	3.0
	再任用(h26)	0.5			
	非常勤	1.0			1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
漏水率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	3.8	3.7	4.2	4		3.7
実績値	3.8	3.5	5.4			
水安全計画の策定(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	60	70	40	70	100
実績値	20	60	70			
主要事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主要事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・施設管理事業
- ・配給水管維持管理事業
- ・消火栓維持管理事業
- ・配水給水管切替事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

漏水率

・計画的な漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めたが、平成29年度に統合した36の旧簡易水道地区の漏水量が想定より多かったため、水道事業全体の漏水率が上昇した。

水安全計画の策定(%)

・安全な水の供給を確実にする水道システム「水安全計画」の策定を進めた。市内水道施設18施設を対象として順次策定し、12個所の策定が完了した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・計画的に漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努めた。
- ・水道施設18施設を対象として順次「水安全計画」の策定をし、12個所の策定が完了した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。
- ・引き続き「水安全計画」の策定を進める。

事業シート (事業名) 浜松市水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水道施設の整備、大規模災害時の応急復旧期間の短縮および老朽施設の適正な更新
事業対象 上水道施設および管路

◇事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 配水管布設事業 消火栓設置事業(拡張費) 老朽管等更新事業 管路耐震化事業 消火栓設置事業(改良費) 施設改良事業 施設耐震化事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S4	—	事業会計	自治事務(その他)	地方公営企業法 水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	282,698	277,729	467,039	461,639
	決算	265,451	236,480	385,749	
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				
	一般財源	265,451	236,480	385,749	461,639
	一般会計繰入金				
人工	人件費 (千円)	14,000	14,000	45,600	49,000
	正規	2.0	2.0	6.0	7.0
	再任用(h31)			1.0	
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
基幹管路耐震適合率 (%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	59.1	62.2	66.4	70		100
実績値	59	62.2	66.4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- ・配水管布設事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・老朽管等更新事業
- ・管路耐震化事業
- ・消火栓設置事業(拡張費)
- ・施設改良事業
- ・施設耐震化事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・基幹管路の耐震化を優先的に実施した結果、耐震適合率が目標の66.4%を達成し、事業が計画通り進捗している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目標に、基幹管路の耐震化を優先して実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 管路の耐震化については、被災時の応急復旧期間の短縮を図るため、影響が大きい基幹管路を今後も優先して実施し、平成36年度末における基幹管路耐震適合率100%を目指す。

政策シート

(政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
 (予算費目名) 飲料水供給施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- (1) 渇水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
 (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
 (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともに作る水道の持続を目指します。
 (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30
予算	78,273	83,204	83,684	81,155
決算	76,661	80,919	81,552	
人件費(A)	28,000	28,000	40,720	40,720
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	104,661	108,919	122,272	121,875

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
水質検査受検率	%	100	目標	95	95	95	95
			実績	93	91	92	
水質適合率	%	100	目標	85	95	95	95
			実績	82	80	85	
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

- (1) 渇水や濁水に対応した取水施設や浄水施設の整備に努め、自然環境変化の影響を最小限に抑えるとともに、水質管理を徹底し、安全でおいしい水の供給を目指します。
 (2) 小規模水道に特化した施設整備手法の検討を行い、効果的かつ計画的な施設の更新により、いつでも安定した飲料水の供給を目指します。
 (3) 水道施設の必要な知識・技術の継承に努め地元水道業者との連携を図り、施設の適正な維持管理を推進し地域とともに作る水道の持続を目指します。
 (4) 大規模地震や台風など災害時でも飲料水が確保できる体制づくりを目指します。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
 飲料水供給施設の維持修繕を行うほか、高齢化や過疎化で維持管理が困難な水道組合に対し、維持管理委託費と水質検査費を助成し、安全で安定した生活用水の供給を図った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	飲料水供給施設等維持管理事業					40,612	25,852	1.8	0.6		
2	飲料水供給施設等整備事業					65,198	50,118	2.0	0.3		
3	飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)					16,065	5,185	1.4	0.3		
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						121,875	81,155	5.2	1.2		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等維持管理事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の修繕を行い、生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
 (公設飲料水供給施設155施設)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	19,605	16,129	28,745	25,852
	決算	19,421	14,922	27,389	
	国・県支出				
	市債				
	その他	1,125	1,368	1,663	1,808
	一般財源	18,296	13,554	25,726	24,044
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		7,000	7,000	14,760	14,760
人工	正規	1.0	1.0	1.8	1.8
	再任用(h31)			0.6	0.6
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

飲料水供給施設等の修繕のほか、事業活動全般に関する庶務事務等を行う。
(公設飲料水供給施設158施設、公設民営簡易水道施設4施設)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

漏水等の緊急修繕を実施、安定した飲料水の供給に努めた。
施設維持修繕 44件 13,857千円

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / - 事業費 現状 人工 現状

各施設の維持管理は、施設の管理者や地域住民が主体となって行われていますが、過疎化や高齢化により維持管理が困難な状況になっています。そこで、維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深めるための検討や、安全な飲料水の確保のための支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討を進めています。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

過疎化や高齢化により人口減少はより進むと思われ、施設の更新は過大な投資に繋がりにくい。維持を基本とした施設の改修に重点をおき、有事における迅速な対応を図るため、地元水道業者との連携を深める中で、安全で良質な水道水を安定供給を図っていくほか、支援方策、施設の延命化のための維持管理手法、補助制度の見直しを検討する

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等整備事業

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の浄水施設整備、取水施設整備及び老朽管更新などの施設整備を行い、安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 取水施設整備事業
- (3) 施設改良整備事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	53,127	60,757	49,986	50,118
	決算	51,699	59,774	49,505	
	国・県支出				
	市債	44,100	48,500	22,000	35,700
	その他	2,898	5,968	4,945	5,009
	一般財源	4,701	5,306	22,560	9,409
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		14,000	14,000	15,080	15,080
人工	正規	2.0	2.0	2.0	2.0
	再任用(h31)			0.3	0.3
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
消毒設備設置率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	88	90	88	89		100
実績値	87	87	88			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業
- (2) 取水施設整備事業
- (3) 施設改良整備事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- (1) 消毒設備・浄水施設整備事業 6事業
- (2) 取水施設整備事業 1事業
- (3) 施設改良整備事業 7事業

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように個々の施設に応じた工法の見直しを検討し事業費の削減を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

人口減少が進む中で、過大な投資とならぬように工法の見直しを検討し事業費の削減を図っていく。

事業シート (事業名) 飲料水供給施設等管理助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

飲料水供給施設の水質検査及び維持管理委託費用の一部を助成し、適正な維持管理を促進して安心安全な生活用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

- (1) 水質検査に要する費用に対する助成
- (2) 維持管理の委託に要する費用に対する助成

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	5,541	6,318	4,953	5,185
	決算	5,541	6,223	4,658	
	国・県支出				
	市債				
	その他	3,000	3,653	3,000	5,000
	一般財源	2,541	2,570	1,658	185
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		7,000	7,000	10,880	10,880
人工	正規	1.0	1.0	1.4	1.4
	再任用(h31)			0.3	0.3
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
水質検査受検率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	95	95	95	95		100
実績値	93	91	92			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
水質適合率(%)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	85	95	95	95		100
実績値	82	80	85			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

- (1)水質検査に対する助成
(2)維持管理の委託費用に対する助成

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- (1)水質検査に対する助成 141施設
(2)維持管理の委託費用に対する助成 52施設

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

利用者が少数世帯となっている飲供施設も数施設あり、こうした施設の受検が進まなかった。

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

管理者講習会を通じて衛生管理の重要性を理解していただくように努め水質検査実施率・適合率を100%に向上させる。

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 小規模水道施設費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

特定未普及地域の住民が行う水道施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算	9,691	3,734	3,660	6,458
決算	9,313	3,734	3,602	
人件費(A)	1,800	1,800	8,480	8,480
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)	11,113	5,534	12,082	14,938

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に要する費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行った。	
施設改修 6件	
水質検査 8件	
維持管理委託 2件	
水の宅配 10件	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生活用水応援事業					14,938	6,458	0.8	0.8			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						14,938	6,458	0.8	0.8			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生活用水応援事業

◇事業目的・事業対象

特定未普及地域の生活用水の確保を支援し、市民がいつでも安心して生活できるように努める。

◇事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算	9,691	3,734	3,660	6,458
	決算	9,313	3,734	3,602	
	国・県支出				
	市債				
	その他	3,700	4	17	89
	一般財源	5,613	3,730	3,585	6,369
	一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)					
人件費 (千円)		1,800	1,800	8,480	8,480
人工	正規			0.8	0.8
	再任用(h31)	0.5	0.5	0.8	0.8
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

特定未普及地域の住民が行う施設改修及び水質検査、維持管理委託に対し費用を助成する。また、濁水や濁水等で生活用水の確保が出来ない住民には水の宅配サービスを行う。

施設改修 6件

水質検査 8件

維持管理委託 2件

水の宅配 10件

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市水道が提供できていない水道未普及地域の住民は水道施設等の設置及び維持管理を自己責任で全額自己負担で行っているため、衛生的にも好ましい状況になく、施設改修、水質検査及び維持管理委託の費用の一部を助成する補助制度を創設し、衛生管理の必要性と費用負担の軽減を図った。また、濁水や濁水により生活用水の確保が困難な世帯には、水の宅配サービスを行い安全で良質な生活用水の確保を行い、住み慣れた地域でいつまでも生活できるように努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

特定未普及地域の状況把握に努め、引き続き安全安心な飲料水の確保を支援していく

政策シート (政策名) 安全な水を確実に届け続ける浜松の水道
(予算費目名) 水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

公営水道が提供できていない中山間地域に居住する市民の、飲料水を含む生活水の確保支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援する。

◇政策のコスト(千円)	H27	H28	H29	H30
予算				50,690
決算				
人件費(A)				
報酬(B)				
年間経費(予算又は決算+A+B)				50,690

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29	H30
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

◇平成29年度の政策評価(政策の概要)

公営水道が提供できていない中山間地域に居住する市民の、飲料水を含む生活水の確保支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援した。

◇平成29年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
中山間地域では、過疎化と高齢化が進み、住民自らで水道施設の維持管理を行うことが困難となっている状況を踏まえ、新たな支援方策の検討を進めている。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	水道事業会計負担金					50,690	50,690				
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						50,690	50,690				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 水道事業会計負担金

◇事業目的・事業対象

公営水道が提供できていない中山間地域に居住する市民の、飲料水を含む生活水の確保支援を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう支援する。

◇事業の概要

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出する

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	—	一般	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30
事業費(千円)	予算				50,690
	決算				
	国・県支出				
	市債				
人件費(報酬等) (千円)	その他				50,690
	一般財源				
	一般会計繰入金				
人工	正規				
	再任用(h31)				
	再任用(h26)				
	非常勤				

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成29年度の事業評価

・平成29年度の事業の概要

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出する

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

支援事業に従事する職員の人件費を水道事業会計に支出した

・事業の見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

水道施設に精通する技術職員が減少する中で、安全・安心を提供できるように努めた

今後の方向性

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

地域水道として、地域の水道事業者との連携を模索する中で支援を検討する